

カトリック中央協議会 CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN



〒135-8585 東京都江東区潮見二丁目10番10号 日本カトリック会館内
% JAPAN CATHOLIC CENTER,
10-10, SHIOMI 2-CHOME, KOTO-KU, TOKYO 135-8585, JAPAN
Key Tel. 03-5632-4411・Fax. 03-5632-4453

PROT.NO. **SCHL13-01**

2013年4月25日

キリスト教学校教育同盟の皆さま

カトリック中央協議会
HIV/AIDS デスク
担当司教 菊地 功
(公 印 略)

HIV/AIDS 啓発ポスターと小冊子のご案内

頌主

当デスクはカトリック中央協議会で1995年からHIV/AIDSの啓発活動をしている部署です。デスク委員には医療関係者等の他、日本基督教団の先生もお2人加わっていただき、幅広い視野で活動しています。

毎年12月1日の「世界エイズデー」には、ポスターやミニカードを発行しています。日本では、HIV/AIDSが10年前と比較して1.6倍になっており、1日4人以上が感染しているのが現実です。また、先進国の中で、AIDSを発症してから自分が感染していたと気づく人の数が唯一増加しているのが我が国なのです。

当デスクでは、自分とは関係のないことだという“他人事(ひとごと)”意識をなくしてもらうことが第一と考え活動してきました。

その一環として、「身近な人が感染した場合、相談にのれますか」などの問いかけを含むアンケート結果を記載した小冊子【HIV/AIDSについて話したことがありますか】を発行しました。

この取り組みを、プロテスタント学校の宗教科の先生やチャプレンに是非ご紹介いただきたく、お願いするしだいです。

なお、追加注文をしていただける場合には、同封のFax用紙、またはメールでお申し込みください。

在主

ポスター1部、小冊子5部、ミニカード1部 同封

カトリック中央協議会 HIV/AIDS デスクとは

カトリック司教協議会は 1995 年から HIV/AIDS に関する啓発活動をしています

HIV/AIDS の現状

- ★ HIV/エイズが発見されてから 32 年。
- * 研究は進んでいますが、まだワクチンも、完治する治療法も、ありません。
- * 世界では、首都圏の人口と同じ位の、約 3,400 万人が感染しています。
- * エイズウイルス(HIV)感染によって亡くなる人は、毎日、約 5,000 人。
- * 新規感染者は 1 日に約 7,400 人(年 270 万人)いますが、治療の拡大や若者の行動変容などで、10 年前と比較して、世界では 13%減少しています。
- * 東アジアの新規感染者数は、10 年前より 19%増加。
- ☆ 日本では 60%の増加です。

あなたにお願いしたいこと

- ◇ 誰でも感染する可能性があることと、検査をしなければ感染がわからないことを忘れずに、自分の問題として意識し続けましょう。
- ◆ HIV 感染からエイズ発症までの期間が短くなり、近年では 1 年以内に発症するケースが増えています。早期発見で一人ひとりの命をまもりましょう。
- ◇ もし、あなたの周囲で感染している人がいたら、偏見や差別することなく寄り添って共に生きましょう。

HIV/AIDS デスクの取り組み

- ⌘ 啓発のためのポスターやミニカード、講演録を配布
- ⌘⌘ 常に意識してられるように、レッドリボンと十字架を組み合わせたロゴのキーホルダーや携帯ストラップ、ピンバッジ、ペンダント・トップを紹介
- ⌘⌘⌘ AIDS 啓発のフォーラム(横浜・京都)
世界エイズデーのイベント(厚生労働省主催)
記念礼拝(聖公会・日本キリスト教団・ルーテルとの合同)に参加
- ⌘⌘⌘⌘ アンケートの実施、小冊子の発行
- ⌘⌘⌘⌘⌘ 啓発ポスターや標語の公募

FAX 送信 03-5632-7920

カトリック中央協議会 HIV/AIDS デスク

エイズ啓発小冊子 『 HIV/AIDS について話したことがありますか 』

冊 ★ ポスター 部
--

所在地	〒
団体名 (教会/修道会/ 学校等)	
代表者(担当)	
Tel/Fax	

郵便振替口座	00130-6-36546
加入者名	(宗)カトリック中央協議会 一般会計口

※ 多少のカンパを頂ければ幸いです。

※ 通信欄に 『HIV/AIDS について話したことがありますか』カンパ と明記して下さい。

☐ メールでも注文できます。件名に 「エイズ啓発小冊子希望」と明記して hivaid@cbcj.catholic.jp まで送信してください ☐